

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 7 日

評価対象事業		評価者	教育センター所長 泉 昭子		
教育-37	実施事業	教育情報事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育センター
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	教育内容・教育環境の充実	

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童生徒等
意図	郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して郷土の理解を図るため
効果	児童生徒が、鎌倉についての郷土理解と郷土愛を育むことを図る

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 市内小・中学校の郷土学習の学習資料を作成し配付した。 「かまくら子ども風土記」を刊行(販売)し、情報の提供を行った。 教育情報の収集・提供を行った。 市民協働事業を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	4,946	2,475	当初予算(千円)	2,524		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他	691		
	一般財源	4,946	2,475	一般財源	1,833		
事業経費運営	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	7,731	7,965	人件費(千円)	7,912		
	総事業費(千円)	12,677	10,440	総事業費(千円)	10,436		
	市民1人当りの経費(円)	210	59	市民1人当りの経費(円)	59		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済	<input checked="" type="radio"/> 2. 適正な受益者負担を導入している
			<input type="radio"/> 1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 玉縄ふるさと館
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	見直しの内容
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒		<input type="checkbox"/> その他
			事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	今後も郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して郷土の理解を図る必要があると考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		
総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の郷土学習に活用するために、理科・社会科の学習資料を作成し、毎年配付している。 「かまくら子ども風土記」第14版を刊行(販売)した。 平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」<平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行っている。 		

<p>令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題 (前年度未解決の事項を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科学習資料「かまくら」の編纂を行い、第19版を発行する。 ・「かまくら子ども風土記」第14版を、市民が購入しやすいよう、市内の書店に委託販売を行う。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」<平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行う。 	
<p>課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科学習資料「かまくら」について、古い情報を新しい情報と入れ替えたり、SDGsを学ぶページを作るなど内容の編纂を行い、第19版を発行した。 ・委託販売書店2店と契約し、「かまくら子ども風土記」第14版刊行(販売)を行い、市民が購入しやすくなるようにした。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく、「鎌倉教育史第三巻」<平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
<p>未解決の課題、新たな課題とその理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科学習資料「かまくら」第20版の編纂を、「教育資料研究会」で行う。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第三巻」<平成編>刊行準備委員会にて資料収集・執筆を行う。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

<p>当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方</p>								
-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	備考
		目標値							
		実績値							
		達成率							

<p>当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方</p>								
------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--